

2016 年度活動報告 留学生 Week

阿部 美恵子（関西学院大学日本語教育センター）

1. 目的

留学生 Week は、本学に在籍する留学生に対して発表の場を提供し、留学生間及び一般学生との交流を図り、それによって本学学生の国際性の向上に資することを目的としたものである。2007 年より毎年 6 月に実施しており、2016 年で第 10 回目となる。

留学生 Week は名前のとおり 1 週間という期間で複数のイベントを実施するものであるが、2016 年度は諸事情によりイベントの開催がずれ、1 か月間でいくつかのイベントを実施した。また、大学生協の後援で 2 週間の「各国ランチフェア」を行った。

2. 活動内容

日本語教育センターが企画して行った活動は、①Cool Japan トークショー in Japanese、②日本語スピーチ発表会、③日本語授業の成果物展示、④映画鑑賞会、⑤日本文化体験である。このうち①～③が日本語の授業に関連するものである。

①は交換学生が日本で見つけた Cool なものを日本語で発表するもので、7 名の交換学生が「食券の自動販売機」「季節で変わる商品」等のテーマで発表した。さまざまな日本語レベルの学生が気軽に参加できるよう、プレゼン後の質疑応答やトークショーの進行は日本語と英語で実施した。司会は交換学生 2 名が務め、コメンテーターとして 4 名の日本人学生も参加した。

②は交換学生、学部留学生が「日本」に関連するテーマでスピーチするものである。学部留学生と交換学生が司会を務め、34 名の留学生による「関西人になる方法」、「日本の強いおじいさんとおばあさん」等の全 26 件のスピーチ発表があった。日本語の流暢さを競うものではなく、留学生の自然な姿を見てもらうことを目的としている。

③は今年度初めて実施したもので、本学の図書館入口ホールに、留学生が授業で実施した成果物や日本語教育センターの活動紹介を展示した。

3. 成果と今後の課題

新たに実施した「日本語授業の成果物展示」は、図書館入口ホールで実施したため、図書館を利用する多くの学生の目に触れることができた。今回は 1 週間だけの展示であったため、来年度は留学生 Week の 1 週間前から展示を始めたい。そうすることで留学生に関心を持ってもらい、留学生 Week のトークショーやスピーチ発表会への参加者増につなげたい。